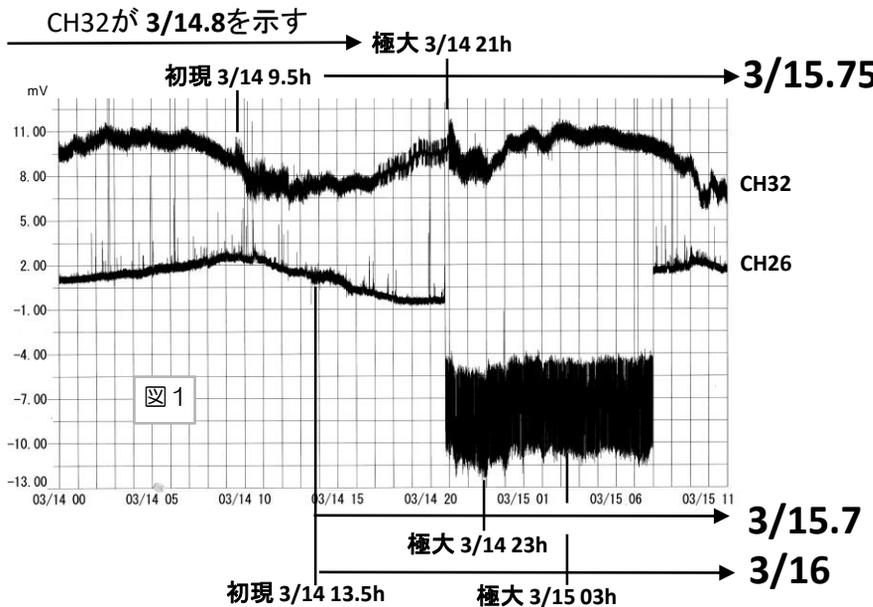
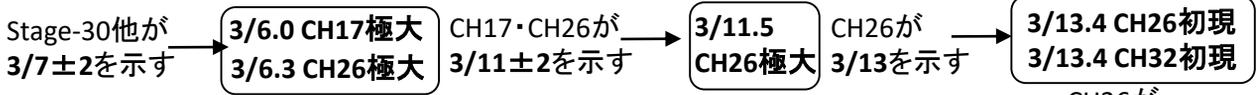


※首都圏直下・南海トラフ等大型地震は前兆検知から発生までの日数は数日の可能性が高いですが、№1778前兆は30年の観測歴上最長継続の最大に難解な変動です。№1778前兆につきましてはPHP新書「地震予報」に記したため、読者の皆様に出版後の前兆変動の変化について続報公開しています。№1778以外の他の地震前兆につきましては本HPでは公開できません。E-mail またはFAXで配信している観測情報でのみ公開しています。本観測研究をご支援下さる皆様に№1778以外の別の地震前兆変動の有無や発生推定内容等の観測情報を配信しています。観測情報配信の「公開実験」に是非ご参加下さい。2024.1/1発生の「能登半島地震M7.6」につきましては、2023.12/31の午前11時に、M7.3±0.5の地震が1/2±2に発生する可能性「予報」を観測情報配信参加の皆様に配信し、地震発生に間に合いました。№1778に関しては解説資料の32頁～35頁を参照下さい。※2024.8/8発生の日向灘M7.1地震は、7/27 高知観測点の複数観測装置に前兆変動極大が綺麗に観測され（前兆規模M6.1±0.5、海深補正M0.9±0.3、推定規模M7.0±0.5）、前兆極大から地震発生までの日数はプレート境界型の遅いパターンTmap=12日で発生致しました。またその後は一切大型地震が推定される前兆変動は観測されておりませんでしたので、南海トラフ巨大地震発生の可能性は考えられないことを、毎日、高知観測点全観測基線波形を掲載して、日々配信の観測情報で配信公開致しました。皆様の本観測研究に対するご支援（情報配信参加）を賜りたくお願い申し上げます。

№1778 長期継続前兆 推定された3/14夜に変動出現を観測

3/15 or 3/16 発生となるか 同様な変動を繰り返し数日先となるか観測必要



◆昨日3/14の観測情報で、CH32の変動は3/14夜を示すことを報告しました。図1のとおり、3/14夜に地震発生ではなく、再び変動出現が観測されました。

◆このあと、両観測装置にさらに変動値の大きな極大変動が出現する可能性もありますが、両観測装置は本日夕刻または明日3/16朝を示します。ここで発生となるのか、または示された時期にさらに変動が出現し、数日先となるのか、しばらく観測を続け続報予定。

◆以前の情報で最近噴火型前兆は観測されていないため、地震発生に伴う噴火の可能性は考えにくいと記しましたが、2018年1月23日の草津白根山鏡池付近での小規模噴火は、2017年12月12日が極大で、ハヶ岳だけに噴火型前兆変動が複数日観測され、極大～噴火までの日数が34日でした。今回は2月6日極大でハヶ岳のCH26に噴火型（複数日）が観測されています。仮に数日以内に発生となる場合には極大からの日数が近くなりますので、草津白根山付近での地震の場合には、噴火の可能性も否定できないことを記しておきます。

火山近傍領域での地震活動の可能性が高い

図2



- 推定領域：図2の点線領域内＝大枠推定領域
図2の太線領域内＝可能性が考えやすい
図2の斜線領域＝火山近傍で考えやすい推定領域
- 推定規模：M8.0±0.3
M7.7～M8.0の可能性考えやすい
または複合地震
複合の場合はM7以上地震の断層長Lkmが
Log L=0.5M-1.8 (Utsu.)式で110～150km
程度となる様な複合地震活動の可能性
(例：M7.1±0.3+M7.3±0.3 等)

●推定時期：現状は3月15日夜 or 16日朝を示すが
3/15夜～3/16朝に変動が観測された場合はしばらく変動を観測し、修正続報予定 現状誤差考慮で3月15日～19日範囲内発生の可能性有

- 推定地震種：震源浅い日本列島陸域地殻地震
- 推定発生時刻：午前9時±2 or 午後6時±3
(複合地震では当てはまらない)